

山田発

艇庫が復旧

津波で被災した山田町の艇庫が震災から5年余りを経て復旧しました。この山田漁港内にある山田町B&G海洋センターは、国の災害復旧費で今年4月に再建され、夏の海水浴の時期に合わせて再オープンしたものです。(7/28 ニュースエコー)



大槌発

海水浴場が海開き

大槌町の吉里吉里海水浴場が海開きし、さっそく家族連れや若者が訪れ海水浴やパドルボードを楽しんでいました。大槌町では来月11日までに1万人の人出を見込んでいます。(7/29 ニュース)



宮古発

道の駅が仮オープン

震災の津波で大きな被害を受けた宮古市田老地区に整備が進められている「道の駅たろう」の一部施設が完成し、仮オープンしました。ここにはドーム型の産直施設「ODENSE」が整備されています。今後は被災事業者の食堂や食料品店などの店舗4店などが順次建設され、再来年4月の本格オープンを目指します。(7/30 ニュース)



宮古発

新診療所で診察開始

津波で全壊し、仮設による運営を続けていた「宮古市田老診療所」が海から30メートルほどの高さの三王地区の高台団地に再建され、診察を開始しました。「新・田老診療所」は、木造平屋建てで工事費はおよそ3億円です。感染症患者のために入口を2か所に増やしたほか、発電装置を備え避難場所としての役割も担います。(8/2 ニュースエコー)



宮古発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週は、みやこハーバーラジオの箱石文彦さんが宮古のお盆について話してくれました。盆の入りの8月1日には松あかしと言って、玄関先で松の木を焚き火のように焚きます。7日は墓参りで松あかしをし、13日には盆棚を設置し回転灯籠を立て、お寺から提灯に火をもらって家のロウソクに灯します。この日は先祖の霊を家に迎える「迎え火」としてやはり松を明かします。そして16日には午前中に盆棚を片付け、先祖は帰っていきます。この時期の宮古の街中は「松あかし」の明かりがそこそこ見られ、神秘的な光景に感じられるという事です。(8/3)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122